

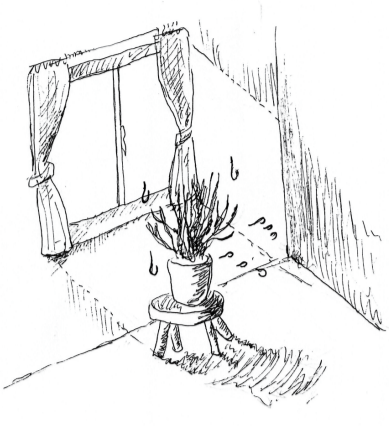
How To Care

—— 植物のお手入れ方法 ——

植物の置き場所

植物はデリケートな生き物です。以下のような場所にはおかないください。

- 炎天下や気温が35℃を上回る場所
- 耐寒温度を下回る場所
- 強い風（エアコン含む）が直接当たる場所
- 24時間以上暗い場所



真夏の直射日光は避けましょう。



真っ暗な場所は避けましょう。



水やりの方法

プランターの種類によって、水やり方法が異なります。
まずは植物がどんな風に植わっているのか確認しましょう。



穴ありプランター

プランターの底に穴が開いているタイプです。
水が底から出るまでお水をあげてください。



穴なしプランター

プランターの底に穴がなく器になっているタイプです。
お水を多く与えてしまうと、水が溜まり根が腐る原因になることがあるので、あげすぎに注意が必要です。
プランターの4分の1程度水をあげてください。



インナープランター

プランターカバーの中にポットが入っているタイプです。
中のプランターを取り出して底から出るまでお水をあげてから戻してください。

水やりの頻度

どのタイミングで水やりをしていいかわからない時は、
プランターの端に、葉箸や竹串、楊枝など細い棒を出来るだけ
深いところまで挿して5～10分置いて乾き具合を確認します。
湿っている状態を好む植物の場合は
土の表面が乾ききる前に与えましょう。
乾燥を好む植物には
土全体が乾いてからあげるようにしましょう。



霧吹き



葉の裏表に霧吹きで葉水をして、
植物にとって快適な湿度を保ちましょう。
葉の表面を洗ってあげることで防虫の効果もあります。

季節ごとの管理ポイント

	生育期	休眠期	生育期
	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月	12月 1月 2月 3月	
水やり	夕方～夜の涼しい時間帯に水やり	日中の暖かい時間帯に水やり	
肥料	花芽や成長促進のため肥料を与える	冬の寒さに耐えるため肥料を与える	
置き場所	蒸れ傷みを防止するため風通しの良い場所に置く	昼夜通して暖かい場所に置く暖房の直風を避けましょう	

※新芽期は害虫が出やすくなるので、霧吹きをたくさんするのがオススメ。
休眠期は土が乾きにくくなるため、水のやりすぎに注意しましょう。
※植物によって異なる場合もあります。

害虫について

風通しや日当たりが悪い場所に置いたり、葉や枝が蒸れると害虫が発生することがあります。
こまめな換気、霧吹き、布巾で葉を水拭きするなどの日々のケアで予防できます。

こんな時は害虫がいるかも？



クモの巣のようなものや、
葉についた点々は「ハダニ」かも？



幹や葉の裏の白いフワフワは
「カイガラムシ」かも？



こげ茶の動く点々は
「スリップス」かも？

発見したら布巾や歯ブラシなどを使い害虫を取り除き、そのあと殺虫剤を散布しましょう。
室内での薬剤散布は厳禁。植物を屋外に移動させてから散布しましょう。
薬剤のご購入はこちら。